

日本学術会議 公開シンポジウム

「植物保護におけるゲノム科学の利用」

日時：平成24年11月13日（火） 13:00 - 17:30

場所：日本学術会議講堂

（東京都港区六本木7-22-34 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」下車，5番出口1分）

主催：日本学術会議農学委員会植物保護科学分科会、植物保護科学連合

（日本植物病理学会，日本応用動物昆虫学会，日本農薬学会，植物化学調節学会，日本雑草学会）

参加費無料

13:00～13:10 開会挨拶「シンポジウム開催にあたって」

日本学術会議農学委員会植物保護科学分科会委員長 白石 友紀（岡山大学自然科学研究科）

13:10～13:50 特別講演「植物の環境ストレス応答機構の解明と分子育種への応用」

篠崎 和子（東京大学農学生命科学研究科）

13:50～14:20 「植物の環境ストレス応答におけるエピジェネティック制御」

関 原明（理化学研究所植物科学研究センター）

14:20～14:50 「スルホニルウレア系除草剤に対する抵抗性の獲得とALS遺伝子ファミリー ミズアオイ属雑草を例に」

汪 光熙（名城大学農学部）・富永 達（京都大学農学研究科）

15:05～15:35 「農薬・ゲノムハイブリッド技術による作物保護の現状と展望」

清水 力（クミアイ化学工業株式会社）

15:35～16:05 「アルタナリア病原菌の植物寄生性を決定するCD染色体の比較ゲノミクス」

柘植 尚志（日本学術会議連携会員，名古屋大学生命農学研究科）

16:05～16:35 「害虫の薬剤防除における課題：ゲノム科学からのアプローチ」

野田 博明（農業生物資源研究所）

16:40～17:30 まとめと総合討論

日本学術会議農学委員会植物保護科学分科会副委員長 藤崎 憲治

10月31日 事前参加申し込み締切

（申し込みなしでの参加も可能ですが、できるだけ期日までにお申し込みください）

申し込みおよび問い合わせ先：筑波大学生命環境系 松本 宏

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

TEL/FAX 029-853-6417 E-mail:hmatsu@biol.tsukuba.ac.jp